

保険のニーズの変化 「死亡」⇒「生存」へ移行

医療技術の進歩等で日本人の平均寿命は伸びる一方、将来の年金受給額や医療費・介護費用の負担に対する不安が高まっています。医療費も現在は年代や収入によって1割負担の方もおられますが、高齢化が進む中でこの状況の維持は難しいと誰もが感じている事と思います。老後の収入源の年金は先細り、医療や介護の負担は増大すると予測して、やはり自助努力が必要になってきます。「死亡」して受取る事よりも、「生存」している時に必要な保障が欲しいと言うニーズがどんどん高まっています。最近では、働けなくなった時や、介護状態になった時に受取ができるタイプの保険がたくさん発売されています。

ご自身が欲しい保障も見つかるかもしれませんね。



FP保険の相談所

垂水駅前店 078-862-8451 西神戸店 078-921-7701

営業時間：10：00～17：00 営業時間：9：30～17：30

営業 火・木 定休日：土・日・祝

ホームページ：右のQRコードから または

ライフプロモーションで検索

<取扱保険会社>メットライフ生命 アフラック
 オリックス生命 アクサ生命 FWD富士生命
 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命 ジブラルタ生命
 三井住友海上あいおい生命 東京海上日動あんしん生命
 NN生命 三井住友海上火災 ソニー損保

FP保険通信

NO. 43 2019.2 発行

「人生100年時代」到来！

日本人の平均寿命は年々伸びています。

	2017年	2065年
男性	81.09歳	84.95歳
女性	87.26歳	91.35歳

上記の表を見て、人生100年を想定して豊かなセカンドライフを過ごすために、計画的な準備が必要だと感じられる方が多くおられると思います。

公的年金だけでは不十分、病気や介護への不安等、やはり自分自身で老後資金作りをしておかないといけませんね。長期的な資金作りには保険が適しています。

最近では貯める十三大疾病や介護の保障と付加できるタイプに人気があります。

資金作りは、必要になる時期や目的を定めて、それぞれに応じて預貯金・保険・投資等を上手く分散して行うことで、効率性や確実性が高まります。100年時代に備えて私達と一緒に資金作りプランを立ててみませんか？



地震保険は 必要な保険です

地震国の日本では、やはり地震保険のニーズは高く、火災保険に入っているだけでは地震・噴火・津波を原因として起こった火災等が補償されません。地震保険を単独で加入することは出来ず火災保険とセットでの契約になります。補償は最大火災保険の50%となりますが、最近では特約を付加して、実質補償額を100%にすることも出来るようになりました。

また、通常の火災保険と併用して「フェニックス共済」に加入する方法もあります。住宅の築年数や規模、構造等に関係なく、年額5,000円の掛金で最大600万円の給付と分かりやすいのも特徴です。

自然災害が多発していますので、ご自身の大切な家を守る方法を一度検討してみませんか？

